



SS たちばなベイ  
令和 2 年度 年間計画書

# 目 次

1. 施設理念
2. 基本方針
3. 行動指針
4. 各委員会及び各会議内容
5. 勉強会・研修会計画
6. 資格取得要領

## 1. 施設理念

### 「笑顔・誠意・真心」

利用者様・家族様・職員の**笑顔**のため、**誠意・真心**を込めたサービスを提供する施設。

## 2. 基本方針

- ・1人ひとりの人生を尊重し、真心を込めた介護を行う。
- ・利用者様のQOL向上のために、知識・技術を向上させ前進する。
- ・介護、医療、福祉の関係機関と連携を取り、安心・安全・安楽な介護を提供する。

## 3. 行動指針

- ・利用者様の声に耳を傾けます。
- ・利用者様の気持ちに共感します。
- ・利用者様の思いを受け入れます。

## 4. 各委員会及び各会議内容

### 委員会構成

- ・各委員会は、委員長、副委員長、委員で構成される。
- ・委員長の任期は1年（延長の場合あり）  
（1月～12月迄任期）副委員長の任期は定めないこととする。
- ・職員は必ず、いずれかの委員会に所属することとする。
- ・必要に応じて管理者、相談員、関係者も参加する(事前に会議内容を伝える。)

### 効率的に会議を行うためのポイント

1. 会議の目的を限定する。
2. 課題(テーマ)を明確にしておく。
3. 議案内容を事前に周知しておく。
4. 時間通りにスタートし、終了時間も予め決めておく。
5. 問題点と解決策は別々に議論する。
6. 役割分担をはっきりと決める(誰が何をするかなど)
7. 会議終了時に、決定事項、次回までの検討事項などを全メンバーと最終確認を行う。

### I. 安全管理・虐待対策委員会

### II. 褥瘡・感染予防・認知症ケア委員会

### III. サービス向上・広報委員会

### IV. レクリエーション委員会

＊各委員会の年間目標と前期目標(1～6月)と後期目標(7～12月)を作成する。＊7月に前期目標の評価を行い、12月に後期目標・年間目標の評価を行う。

### V. ユニット会議

### VI. リーダー会議

### VII. 全体会議

## I.安全管理・虐待対策委員会

開催日 : 各委員会にて決定(月 1 回以上開催)

委員長 : 山口 弥生

副委員長 : 野中 貞子

委員 : 岡山 浪子・松山 由美子・小林 明日美・平山 寛子

内容 : 事故のレベルによりカンファレンスを開く・事故報告書の集計と発表・分析を行い、対策を講じる。  
必要に応じてマニュアルの改訂や研修・勉強会の実施。  
身体拘束の禁止や虐待防止の啓発や勉強会の実施。

	会議議案
1 月	令和 2 年度の委員会年間目標（短期、後期）目標を決定する
2 月	虐待の勉強会（不適切ケア）、事故の集計方法など決める
3 月	虐待起きていないようにするためには、現在虐待は起きていないか？
4 月	勉強会の内容を検討する
5 月	勉強会の内容を検討する
6 月	勉強会の詳細を決め、安全管理の勉強会
7 月	勉強会の反省
8 月	
9 月	
10 月	
11 月	
12 月	委員会の振り返り。課題・次年度の持越し議案などまとめる

## Ⅱ．褥瘡・感染予防・認知症ケア委員会

開催日：各委員会にて決定(月 1 回以上開催)

委員長：高比良 孝太

副委員長：濱崎 翔

委員：三浦 みゆき・藤本 靖子・矢野 美由紀

内容：各委員で褥瘡・感染予防の知識を深め、利用者様にとって快適な生活を目指す。

褥瘡の発生を防ぎ、褥瘡発生時には早期対応、早期治療を行う体制を構築する。褥瘡予防の対策に力を入れる。

感染症に対する抵抗力が弱い利用者様にとって、持ち込ませず、持ち出させない対策を構築し、安全・安心な施設を目指す。

ケアの質の向上のため認知症ケアについての勉強会や対応についての取り組みを行う。

	会議議案
1 月	令和 2 年度の委員会年間目標、(前期、後期) 目標を決定する
2 月	2019 年振り返り
3 月	勉強会内容・役割決め
4 月	勉強会準備
5 月	認知症勉強会
6 月	反省会・食中毒
7 月	前半反省会・後半の目標決める
8 月	褥瘡感染について
9 月	中期振り返り
10 月	感染について
11 月	12 月全体会議の内容決め
12 月	活動の振り返り

### Ⅲ. サービス向上・広報委員会

開催日 : 各委員会にて決定(月 1 回以上開催)

委員長 : 溝口 麻衣子

副委員長: 重田 光佐子

委員 : 山下 翔太郎・佐藤 晶子・田川 由紀・堀口 文子

内容 : 過ごしやすい環境やケアのあり方など業務改善、接遇向上、環境整備等あらゆる面からサービス向上を推進するために委員、他職種、他の委員会と協力していく。接遇の勉強会や、啓発活動を行い職員の意識向上も行う。

他の委員会活動と連携しショートでの情報発信を行う、広報誌の発行・掲示物の作成など行う。

1 月	令和 2 年度の委員会年間目標（短期、後期）目標を決定する
2 月	(前半) 接遇と環境の改善 アンケートの実施
3 月	環境改善 情報誌作成準備／原稿収集
4 月	情報誌作成／配布／発送（翌月 10 日頃）
5 月	
6 月	勉強会準備
7 月	接遇勉強会 情報誌作成／配布／発送（翌月 10 日頃）
8 月	勉強会（全体会議）
9 月	情報誌作成／配布／発送（翌月 10 日頃）
10 月	
11 月	原稿収集
12 月	情報誌作成／配布／発送（翌月 10 日頃）

#### IV. レクリエーション委員会

開催日 : 各委員会にて決定(月 1 回以上開催)

委員長 : 濱田 裕介

副委員長 : 下釜 瞳

委員 : 大町 絹子・菅 祐介・吉川 代志子

内容 : 利用者様に活気のある生活を送って頂けるよう、様々なレクリエーションや日々の楽しみの提案を行います。

施設行事の企画、運営を行う。各ユニットで利用者様がより楽しい日々を過ごせる行事、レクリエーション等を企画、実行していく。

毎月 1 回行事もしくはレク行事を企画、運営する。

大きな行事など全職員協力し行事を盛り上げる

月	行事名	担当者
1 月	書き初め	ウサギ
2 月	節分	リス
3 月	ひな祭り (ひな人形)	ペンギン
4 月	花見	ウサギ
5 月	端午の節句 (こいのぼり作り)	リス
6 月	うちわ作り (夏祭り準備)	ペンギン
7 月	夏祭り	レク委員・相談員・ウサギ
8 月	東長崎花火大会	リス
9 月	敬老の日・クリスマス会企画	レク委員・相談員・ペンギン
10 月		レク委員・相談員・ウサギ
11 月	リース作り (クリスマス準備)	リス
12 月	クリスマス会	レク委員・相談員・ペンギン

夏祭り・敬老会・クリスマス会など大きな催事は全職員協力のもと準備及び実行にあたるものとします。

橘の丘の「秋祭り」も送迎・見守り・介助・ユニット対応などにあたります。



## V. ユニット会議

- 開催日 : 各ユニットにて決定(月 1 回以上開催)
- 参加メンバー : 各ユニット職員(必要に応じて、看護、相談員、管理者等)
- 内容 : 各利用者様のケアについての変更点等あれば出し合う。  
ユニットで問題となっていることや、必要物品、職員の勤務時間の課題等を協議する。ユニット職員の総意となるよう、意見を出し合う。当日の司会進行役は全職員より意見を拾い上げる。

## VI. リーダー会議

- 開催日 : 毎月定期的に開催する(必要に応じて適宜開催する)毎月月末全体会議前
- 参加メンバー : 各ユニットリーダー、サブリーダー、看護、相談員、管理者
- 内容 : 各ユニット、で発生している問題点等の様々な出来事について報告・連絡・相談をする。

## VII. 全体会議

- 開催日 : 毎月末日 19:00～(末日が土・日・祝の場合は、前倒し)
- 参加メンバー : SS 全職員
- 内容 : 各ユニット、各委員会、各会議より、決定事項の報告及び検討事項の提案。法人内・グループでのイベントについての報告と役割分担の周知徹底。SSとして取り組んでいくべき課題を見出し、職員全員で対策を検討する。

\* 自己都合及び業務都合による会議欠席者は、ユニットリーダーもしくは相談員、管理者へ報告をしておく。

## 5. 勉強会・研修会計画

- 1) 職員の専門性や知識・技術を深め、利用者様にとってよりよいサービスを提供できるよう、毎月全体会議終了後に実施する。勉強会は、月別に決められた担当部署がおこなうこととする。
- 2) 勉強会・研修会のテーマについては、各部署・委員会がその時に問題となっていることや、知識・技術を向上させたいことを協議し決定する。
- 3) 勉強会のテーマが各部署・各委員会で決定したのち管理者へ内容の報告を行う。

月	年間計画	担当
1 月	各委員会の目標発表	各委員会
2 月	権利擁護・不適切なケア	安全管理・虐待対策
3 月	<中止>	相談員
4 月	<中止>	
5 月	認知症勉強会	褥瘡・感染予防・認知症
6 月	安全管理の勉強会	安全管理・虐待対策
7 月	接遇について	サービス向上・広報
8 月		看 護
9 月		
10 月		介護福祉士
11 月		
12 月	年間活動報告(各委員会)	各委員会

## 6. 資格取得要綱

別紙参照

## 令和2年度ショートステイたちばなベイ全体目標

○稼働率 90%以上を維持する。

○サービス内容を見直し、ムラのない統一されたケア、個別のケアを提供できることを目指す。

○職員のスキルアップを図り、教育、指導体制の整備、研修の実施を行う。

○働きやすい環境作り、風通しの良い職場を目指す。

### ショートステイたちばなベイ組織図

